

病院概要

開設 : 2023年11月25日
院長 : 鈴木 昭一郎
診療科目 : 救急科/外科・消化器外科/脳神経外科/整形外科/心臓血管外科/泌尿器科/呼吸器外科/
耳鼻咽喉科/婦人科/乳腺外科/形成外科/皮膚科/総合臨床科/内科/呼吸器内科/
循環器内科/消化器内科/放射線治療センター/放射線科/麻酔科/病理診断科/
リハビリテーション科 等
病床数 : 221床 (ICU 8床、HCU 16床、一般病床 197床)
看護基準 : 一般7対1
施設規模 : 構造 : 鉄筋コンクリート造(地上8階)
敷地面積 : 約5,635.84m²
延床面積 : 約12,243.55m²

お車の場合

駐車台数 : 62台
駐車料金 : 外来患者の方入庫から30分無料
※30分経過後は入庫時からの料金が加算されます
最初の3時間400円
以降30分100円
※駐車場の台数が少ないため、
なるべく公共の交通機関のご利用をお願いします。

電車の場合

西武新宿線「新所沢駅」東口下車徒歩8分

タクシーの場合

西武新宿線「新所沢駅」東口より約5分

バスの場合

西武新宿線「新所沢駅」東口バスのりば
西武バス「市民体育館前」バス停下車



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院
Takorozawa Mihara General Hospital

総合案内



カマタグループ 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会
所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3

TEL : 04-2997-8199

受付時間 AM 9:00~12:00 (受付/AM8:30~11:30)
PM 14:00~17:00 (受付/PM13:30~16:30)

休診日 : 土日、祝祭日、年末年始
※ただし救急は随時受入れます

URL : <https://tmgh.jp/>



地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指して

グループ理念

手には技術
頭には知識
患者さまには愛を

基本理念

志は高く
敷居は低く
懇切丁寧に

基本方針

- 1 断らない救命救急医療の遂行
- 2 高度先進医療の推進
- 3 上記を究めて日本の医療に貢献

あいさつ

病院長 あいさつ



所沢美原総合病院 院長
鈴木 昭一郎

所沢美原総合病院の開設について
24時間365日 断らない救急医療をモットーに、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指して

所沢明生病院(1989年開院)が2009年にカマチグループの一員となり、所沢明生病院(急性期、50床)と回復期リハビリテーション病院(111床)として再出発しました。以後所沢明生病院は救急医療に注力し、コロナ禍でも積極的に救急搬送を受け入れ、2022年には年間4,000件余りを受け入れました。しかし、50床の病院では限界があり断らざるを得ないことも多々ありました。そのため、約10年前から22床程度の急性期病院を開設するべく努力してきました。その結果、コロナ禍の貢献も評価され2022年に県から60床の病床配分を頂き、狭山中央病院(111床)も合わせて、2023年11月、所沢美原総合病院(TMGH、221床)が誕生した次第です。

当TMGHは、高度急性期24床(ICU8床、HCU16床)と急性期197床の病院で、「志は高く、敷居は低く、懇切丁寧に」を基本理念のもと、断らない救命救急医療の遂行を基本方針として、24時間365日昼夜を問わず検査・治療が可能な病院として始動しました。そして開院直後から多くの救急搬送依頼を頂き、2024年度には、年間7,455件の救急搬送を受け入れ、ハイブリッド手術室を含む6手術室と血管造影室(心筋梗塞や脳梗塞の血管内カテーテル治療を行う部屋)を活用し、多くの患者さまの救命治療を行っています。

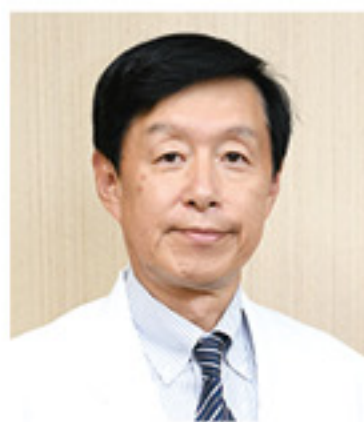
また救命救急に注力する一方で、低侵襲手術を行うべく2024年6月からロボット支援手術(ダヴィンチ手術)を開始し、前立腺がん手術や大腸がん手術を行っています。また、2025年7月からは、がんの放射線治療が開始されます。それにより、がんの局所療法としての手術療法と放射線治療、全身療法としての化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療が可能となりますので、今後はがん診療の拠点となる病院を目指していきます。カマチグループの理念「手には技術、頭には知識、患者さまには愛を」をモットーに、当職員のみならずグループ一団力を合わせ、地域の皆さまに信頼され、愛される良い病院を目指して今後も歩んで行く所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

1989年以来35年間、小生がこの所沢の地で救急医療に従事してきたことを表彰されましたので、この場をお借りしてご報告申し上げます。



(2024年9月)

理事長 あいさつ



社会医療法人社団
埼玉巨樹の会 理事長
瓜生田 曜造

地域医療を確かな医療技術で支える

所沢美原総合病院は2023年11月に当地に開院いたしました。以来少しずつではありますが住民の方々、関係機関の皆さまの理解・信頼を得つつあるものと思います。

診療実績としましては2024年度で延外来患者数は52,687人(平日平均196人)、延入院患者数も77,630人(一日平均213人)、手術件数も2,433件(月平均203件)に上りました。

特に救急医療については受け入れ救急搬送は7,455件(一日平均20.4件)、緊急手術も数百件にも上っています。長らく当地域の救急医療に関わってきた我々としましては新病院開院により貢献度が進展したと自負しております。

2025年7月からは新たに放射線治療装置が稼働し当地域の更なるがん治療への貢献を目指してまいります。

我々、所沢美原総合病院は引き続き救急医療を中心に地域の皆さまのご期待に応えて参ります。あわせて今後は医療レベルの更なる向上も目指してゆく所存です。



創設者 あいさつ



カマチグループ創設者 会長
蒲池 眞澄

カマチグループ創設者・CEO
蒲池眞澄が語る、医療への思い。

昭和49年、19床でスタートした下関カマチ医院から50年。カマチグループは病院25、診療所3、大学1、専門学校5、助産院1を運営する医療法人として成長してきました。

回復期リハビリテーション医療にも一層力を入れ、地域医療にとどまらず「大和民族のための医療」を目指し、最善の努力を続けます。24歳で医師になってから、医師として大概の事はできるようになり、「自分のところに来た患者さまは何が何でも治す!」という気概でやってきた救急医療でありました。

私は下関カマチ医院を開院した時から「厚生省の政策を10年先取りして動かなければ」と考えてきました。小文字病院を開院した当時、救急対応をしていた病院は、当院とあと一つくらいで、普通に治療をすれば助かる患者さまが手遅れでなくなっていました。これは国内で交通事故に遭えば、ベトナム戦争よりも死亡率が高かったことになりました。

他の病院が受け入れない患者さまを当院の技術と医学知識で治療し、全体をレベルアップさせてきました。

その結果、福岡・北九州の医療現場から「タライ回し」をなくしたのです。そして当時、私より15歳年下の若いセラピストが、救急の治療後すぐに適切なリハビリを行えば、回復が早い事を実例で示してくれました。彼が手術後の患者さまにリハビリを施すと、予後が違った。まだ早期のリハビリはいけなさとされていた時代でしたが、リハビリは効くと思ひ、積極的に取り入れてきました。その結果、早期退院が可能となり、病床の回転率が上がるという好循環な結果になりました。

とにかく患者さまのために役立つ医療を行わなければならない。そのためにどのような医療を行えばいいかということは、「シンプルアンドロジカル」です。必要なことは必要な時期にすぐ実行する。患者さまが「痛い」と言えばすぐに痛みを取ってあげる。「苦しい」と言われたらすぐに和らげてあげる。「死にたくない」と言われたら命が長らえるようにできるだけの努力をする。それは病院運営でも同じことです。

マーケティングを行いニーズがあるところに病院を作った結果、病院が増えました。だんだん病院が増えてくると、看護師やセラピスト集めが大変と言われる。ならば、養成校を自前で持っておけばいいのではないかと。それがカマチグループの施策の一つです。

もう一つ心に留めている言葉が「伝統は与えられるものにあらず 作るもの也」。こうしてグループが発展した土台には、基礎を築いた人物や出来事など歴史がありました。それらがあつたから今があるのです。またその歴史に伝統という色づけを皆でしてきた。その伝統は、もっと良くしたいという思いから生まれたものです。もっと素晴らしい病院にするために、毎日毎日の手、顔、心が伝統になると思っています。これからもいい伝統を作り続けていきたいと考えています。

そして、若いスタッフが大勢いるのもポイントの一つ。彼らの「何とんでも患者さまを治す!」という心意気は、グループの大きな原動力です。また回復期のリハビリテーションは、患者さまに生きる希望を見出し、人間として生きるための尊厳を回復することが使命です。救急医療によって命を助け、退院後のQOLを高めるためにリハビリテーションを行い、できるだけ早く元気になって自宅や職場に復帰していただくこと。それが結果として日本を元気にしていく。グループ内のどの病院も地域医療だけにとどまらず「大和民族のための医療」を行っています。

それがカマチグループの役割だと考えています。

これまでもこれからも、人類の生命がある限り、カマチグループは医療界のプロ集団として邁進してまいります。

01

救急科

24時間365日様々な病気やけがの患者さまを受け入れています。いつでもご相談ください。



救急医療体制は、入院や手術を伴わない休日夜間急患センターや地域の当番医などで行われる「一次救急(初期救急)」、入院や手術を要する症例に対する救急医療を行う「二次救急」、二次救急まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対する医療であり、救命救急センターなどで行われる「三次救急」に分けられます。

しかし突然からだの調子が悪くなったときや、けがをしたとき、どの医療機関を受診していいかはすぐにわかるものではありません。

救急科の特徴

所沢美原総合病院救急科は24時間、365日、様々な病気やけがの患者さまを救急車および救急外来にて受け入れ、医師・看護師・救命士がチームとなって対応を行なっています。

救急医療において必要な検査(血液検査、CT、MRIなど)は常時稼働しています。専門診療科との連携はスムーズであり、急を要する病態に関しては夜間であっても専門診療科医師へと繋げる体制をとっております。これにより時間及び診療科を問わない救急体制を維持しております。

一部の特殊な疾患ではより高度な医療が必要な場合がありますが、当院では必要な初期治療を迅速に行い、全身の状態を安定させうえて、適切な医療機関を紹介します。

からだの調子がおかしくなったとき、けがをしたとき、些細なことでも構いませんので、いつでも当院へご相談ください。



02

外科



外科の特徴

当科では消化器系疾患である消化器がんや腹部良性疾患、腹部救急疾患の治療を行います。

消化器がんに対しては手術だけでなく、化学療法や放射線治療、緩和医療も含めた集学的治療を行っております。

ヘルニア、胆石症・胆嚢ポリープ、肛門疾患などの良性疾患に対する診療も行っています。

救急疾患(外傷、胆嚢炎、虫垂炎、消化管穿孔、腸閉塞など)に対しては24時間365日緊急手術を行える環境を構築しています。

高度外傷や重症疾患では、他診療科と協力しながら全身治療を迅速に提供します。

積極的に腹腔鏡手術を選択し低侵襲治療を心掛けています。

患者さまのご希望や病状、ガイドライン等を参考に安全な手術を提供します。

また、ダヴィンチによるロボット手術、及びリニアックによる高精度放射線治療も始まっており、地域病院として、高度・専門的医療を提供してまいります。

当科は主に消化器系疾患に対する診療を行っており、消化器がんや腹部救急疾患の治療を得意としています。



脳神経外科

機能障害や痛みに対して、安全に、確実に、迅速にをモットーに対応致します。
痛くない治療、早くよくなる治療、
合併症や後遺症の少ない治療を第一に心がけています。



脳神経外科の特徴

地域に根ざした脳神経外科医療をめざします

埼玉県西部に位置する当院は、221床の病床を備えた総合病院として一步を踏み出しました。新たに導入された医療設備と蓄積された知識・技術、熱心なスタッフにより、全ての患者さまに満足できる治療を提供することを目指しております。特に脳卒中治療に関しては、開院初年度から一次脳卒中センターに認定され、あらゆるタイプの脳卒中に対応しています。当院での治療を通じ、「ここで治療してよかった」と心から思っただけよう努めてまいります。皆さまや皆さまの大切な人の健康を守るため、何か心配なことがあれば、ぜひ当院までご相談ください。地域社会に根ざした医療の提供を目指し、皆さまの健康を全力でサポートします。

頭痛から重症の脳卒中まで頭に関する病気を幅広く診察しています

当科で診察している疾患は多岐に渡り、日常的な頭痛から、命に関わる脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷といった重篤な病気まで、頭部に関する疾患の診断と治療を行っています。開頭術にも血管内治療にも経験豊富なエキスパートが在籍しており、患者さま一人ひとりに応じた治療計画を提案いたします。近隣の先生方で脳神経外科の受診を勧めたい場合や何か気になる症状を有する患者さまがございましたら、どうぞお気軽に当院をご紹介ください。

当科の代表的な対象疾患は以下のようなものです

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、未破裂脳動脈瘤、内頸動脈狭窄症・閉塞症、もやもや病、三叉神経痛、顔面痙攣、水頭症、慢性硬膜下血腫、良性脳腫瘍、悪性脳腫瘍、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、認知機能障害、頭部外傷(打撲など)



整形外科



整形外科では主に骨折、脱臼などの上下肢の外傷性疾患に対して治療を行って参ります。早期ADLの獲得を目指し、保存的加療はもちろん、手術とリハビリテーションを各部門のスタッフと連携しながら進めます。近年では超高齢社会を迎え、90歳を超える患者さまにも、全身状態に配慮しながら手術を行う機会が増えて参りました。

当科の代表的な疾患について

大腿骨近位部骨折

軽微な外力においても骨粗鬆症をベースに受傷され、救急搬送される代表的な骨折です。機能予後のみならず生命予後の観点からも、受傷早期の手術が推奨されます。骨折型により、髓内釘を用いた骨折観血的手術や人工骨頭置換術を行います。



橈骨遠位端骨折

転倒により手をつくことで受傷される骨折です。高度な変形を伴う場合や早期のADL獲得を図るために手術が必要となることも多いです。金属製のプレートとロッキングスクリューによる手術で強固な固定を行い、術後早期からのリハビリテーションが可能となります。



診療について

治療開始後も、ADLの獲得を目標とするには長期間のリハビリテーションが必要となる場合があります。当グループ系列病院をはじめとした近隣地域の病院とも連携を図り、転院でのリハビリテーションもご案内して、患者さまのQOLの改善に努めて参ります。

外傷・疼痛による痛みや変形を治療します。



2023年11月25日の所沢美原総合病院開院から心臓血管治療を開始。対象疾患として、心臓・大動脈・末梢血管・下肢静脈瘤・透析シャントの治療を行っています。ハイブリッド手術室も完備し、大きな傷をつくらない低侵襲治療も積極的に行っています。低侵襲治療として当院では大動脈に対するステントグラフト治療も対応可能です。心疾患・血管疾患は緊急も含めて当院にて対応させていただきます。

心臓血管外科の特徴

当科では経験豊富なスタッフが小児を除くあらゆる疾患、緊急症例に対応しています。ハイブリッド手術室を利用した胸部、腹部大動脈瘤破裂に対する緊急のステントグラフト内挿術、開胸、開腹術にも対応可能です。特に成人一般疾患の虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患、不整脈手術を得意としています。今後は施設認定を獲得の上(新設病院ですので施設認定を獲得するのに時間がかかります。)、TAVI等の低侵襲手術を行っていく予定です。

当科の治療対応疾患

虚血性心疾患

心臓弁膜症

大動脈瘤
(人工血管置換術)
(ステントグラフト治療)

末梢血管疾患

下肢静脈瘤

透析シャント関連

地域診療を担う心臓血管外科を目指して所沢美原総合病院にて心臓血管外科治療を開始します。所沢、入間、狭山を含む西部保険医療圏を中心に地域医療を担っていきます。



当科では、近隣の医療施設の先生方と連携しながら泌尿器科疾患の患者さまの受け入れを積極的に行います。特に、病院の方針である「断らない救急医療」を充実させるために、泌尿器科の初期診療、救急処置等の態勢を整えております。また、手術支援ロボットによる手術を開始し、低侵襲手術の充実にも力を入れております。

診療について

当科では、良性前立腺疾患(特に前立腺肥大症)、排尿異常(過活動膀胱、尿失禁等)、尿路結石、尿路感染症、副腎疾患、泌尿器科悪性腫瘍(腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍)などの泌尿器科疾患全般にわたって診療を行います。男性の排尿障害で最も多い疾患は、前立腺肥大症です。薬物治療を中心とした治療を行い、排尿障害の程度、前立腺の大きさや年齢などを総合的に判断して、手術が症状をより改善すると考えられる場合は、内視鏡手術をお勧めします。前立腺がんが疑われた場合は、前立腺生検をお勧めします。前立腺がんの治療には、手術、放射線治療、内分泌治療等があります。病気の状態や治療についてご説明させていただき、年齢や家庭環境に合った治療を選択していただきます。尿路結石に関しては、状況に応じて尿管ステント留置などの応急処置および軽易な結石除去等の内視鏡治療を行います。女性でよくみられる疾患に過活動膀胱、尿失禁があります。薬物療法と骨盤底筋体操を中心とした行動療法を中心に治療させていただきます。

主な診療内容

前立腺肥大症

薬物療法、経尿道的手術

前立腺がん

前立腺生検、手術(ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術)、放射線治療、内分泌治療

尿路結石

尿管ステント留置、経尿道的結石除去術

副腎疾患、泌尿器科悪性腫瘍

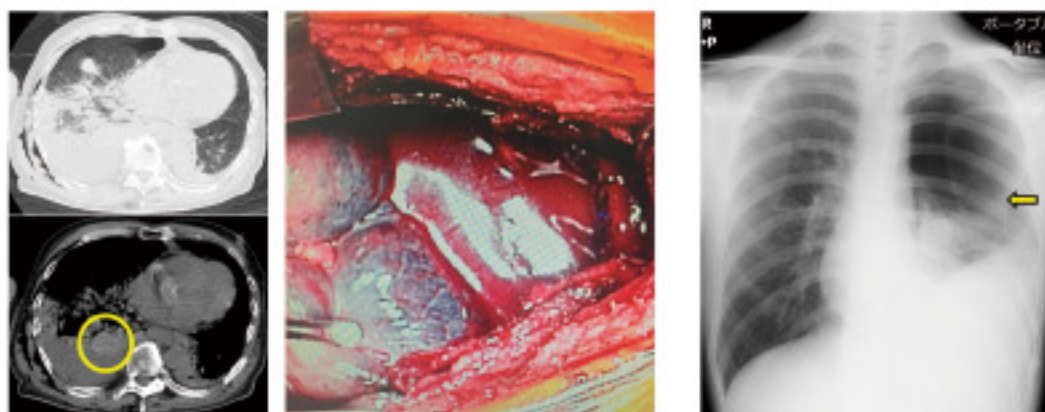
腹腔鏡手術、開腹手術、薬物療法

過活動膀胱、尿失禁

薬物療法、行動療法

病院の方針である「断らない救急医療」の充実。初期診療、救急処置等の態勢を整えております。また、高度専門医療の充実にも力を入れていきます。

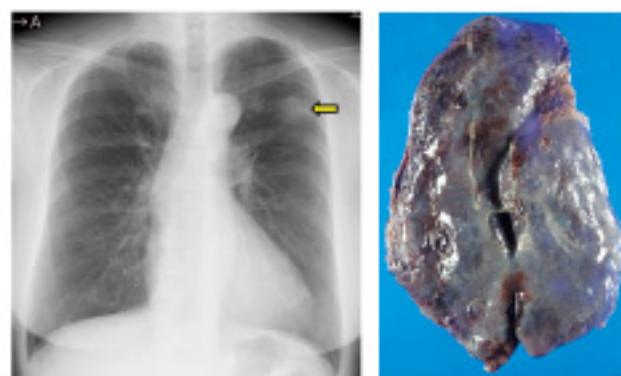
専門医のもと、
丁寧な医療をこころがけていきます。



胸部外傷

胸部外傷（血胸）

左特発性自然血気胸



左肺野異常陰影

原発性右肺がん

呼吸器外科の特徴

わが国における死因のトップは悪性新生物ですが、その中でも中高年を中心に発症する肺がんでの死亡は最も多く7万人を超えています（厚生省人口動態統計令和4年度）。

手術、全身化学療法、放射線療法などの集学的治療が必要になる「肺がん」に関しては、呼吸器内科とも連携をとり、患者さまによりそった治療を提案していきます。

その他、救急医療に関しても積極的に取り組んでおり、若年者を中心として発症する「気胸」、高齢者の肺炎の悪化から発症する「膿胸」、突如として見舞われる「胸部外傷」の治療など、幅広い年齢層にわたる疾患を呼吸器外科の領域のみならず、他科との強力な連携を活かし、治療方針を提供します。

主な診療内容

肺腫瘍性疾患

原発性肺がん、転移性肺がん、
良性腫瘍など

胸膜疾患

気胸、縦隔気腫など

呼吸器感染症

肺炎・胸膜炎、膿胸など

胸部外傷

肋骨・胸骨骨折、
血胸など

縦隔腫瘍性疾患

胸腺腫、神経原性腫瘍、
縦隔気腫など

副鼻腔の手術においては豊富な経験・技術のもと、
安全性を高めた精度の高い治療を目指しております。



耳鼻咽喉科の特徴

耳鼻咽喉科は、聴覚、嗅覚、アレルギー、口腔、咽頭の疾患のほか、発声や嚥下機能、めまいや、平衡覚、顔面神経の疾患、頸部の腫瘍などを幅広く診療する診療科です。

地域の診療所など近隣医療機関との連携も重視しており、所沢、狭山、入間地域など県西部、多摩北部地域をはじめとして遠方からも手術や入院加療が必要な急性疾患の方を随時受け入れています。

耳鼻咽喉科の各種手術治療をおこなっており、副鼻腔内視鏡手術においては、豊富な経験と技術、ナビゲーションやマイクロデブリッターシステムなどの設備のもとで、低侵襲治療を数多くおこなっています。

現在、重症アレルギー性鼻炎に対しても治療の選択肢が増えていますが、舌下免疫療法、抗体薬治療や手術（後鼻神経切断術）など個々の患者さまのニーズを踏まえて適切な治療選択肢を提示いたします。

末梢性顔面神経麻痺に対しては、電気生理学的検査による評価を踏まえてリハビリテーション科と連携して診療をおこなっているほか、突発性難聴に対する外来・入院治療、救済治療をおこなっています。

頭頸部がん（咽頭がん、喉頭がんなど）の診断においては、高精細NBI内視鏡や超音波検査、各種画像検査を用いて早期がんや前がん病変を含め早期発見に努めています。悪性腫瘍と診断され治療が必要な方は、近隣で連携しているがん治療施設にご紹介しています。



11 形成外科

形成外科は全身のキズとカタチの専門家であり、幅広い診療を行い患者さまの生活の質を向上させることに全力を尽くします。

形成外科の特徴

形成外科という診療科をご存知でしょうか。

馴染みのある方は未だ決して多くないと思います。

特定の臓器・部位を対象にしている珍しい科であり、全身あらゆる部位のキズ・変形・欠損・見た目の不具合などを外科的アプローチによって治療しています。

「生活の質を上げる」のが治療の目的ですので、治療はすべて患者さまのライフスタイルに合わせてオーダーメイドで計画します。

「何科に行ったら良いかわからない…」 「放っておいて良いと言われたけど治らない…」 それ、形成外科なら治せるかもしれません。

どうぞお気軽にご相談ください。



12 皮膚科

皮膚科は、頭の先から(髪の毛)、足の先(爪)まで体表の全てが、守備範囲です。

皮膚科の特徴

湿疹、水虫、じんましん、皮膚感染症など一般皮膚疾患の診療を行っています。

アトピー性皮膚炎、じんましん、膠原病、尋常性乾癬などの

アレルギー疾患または内科的皮膚疾患から、皮膚腫瘍、母斑(あざ)など

外科的手術を必要とする皮膚疾患まで、必要時には形成外科医師と

連携して治療させていただきます。

主な診療内容

湿疹、かぶれ、手荒れ、じんましん、単純ヘルペス、帯状疱疹、水虫・爪水虫、

たこ、うおのめ、しもやけ、やけど、粉瘤・できもの、尋常性乾癬、

円形脱毛症、脂漏性角化症、ほくろなど

09 婦人科

婦人科の特徴

女性のQOL向上について社会の対応も変化しており、女性特有の病態、疾患に柔軟に対処します。

婦人科検診から始まり、思春期、成熟期、更年期の特徴を踏まえた診察を

行います。子宮・卵巣の疾患では、良性疾患を中心にホルモン療法などの保存的治療、内視鏡手術などの外科的治療を行っております。

悪性疾患では、子宮頸部初期病変を中心としたコルポスコブなどの精密検査や治療としての子宮頸部切除術を行います。

婦人科がんは大学病院や国立病院と連携しながら診断・治療を行っていきま

す。月経異常や更年期障害に対する薬物療法も近隣機関との連携を密に

しております。



乳腺外科の特徴

乳がんの治療は薬物治療が大きな比重を占めています。

当院の乳腺外来では薬物治療を中心に診療を行っています。



乳がん診療を行っています。

10 乳腺外科

13

総合臨床科

特定の診療科が決まらない患者さまや、複数の症状やお悩みを抱える患者さまに寄り添える診療をさせていただきます。



総合臨床科の特徴

医療の進歩が進む一方で、医療の細分化が進みました。その結果、「どの科を受診すればよいかわからない」というケースも多くなりました。

さらに、高齢化が進むなか、複数の健康問題を抱える患者さまも増えています。総合臨床科は、「common disease」と呼ばれ日常的に高頻度で遭遇する疾患や有病率の高い疾患（発熱・風邪症状・下痢・腹痛・アレルギー疾患など）の診療をするとともに、特定の診療科が決まらない場合や複数の症状やお悩みを抱える患者さまに対して症状や臓器・疾患にとらわれず、診察させていただきます。

必要に応じて特定の専門診療科に紹介させていただき適切な治療を受けていただけるようにいたします。

小児領域には対応しておりませんが、外科的処置を要する疾病に対しても対応しております。



14

内科・呼吸器内科

総合内科は、内科全般を幅広く診療いたします。



発熱、倦怠感、咳、咯痰、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、腹痛、嘔吐、下痢、などの身体の様々な症状に対してその診断と治療を行います。より専門的な治療を要する場合には、専門科、専門医に繋ぐ役割をいたします。

内科の特徴

内科的な疾患は、いろいろな自覚症状で始まる場合もあり、重大な病気の前兆であることも。当院では、全ての可能性を考えながら、一つの臓器にとらわれず身体全体を診ていくことを心がけて参ります。お身体の不調や気になる症状のある方は、お気軽にご相談ください。

呼吸器内科の特徴

呼吸器疾患全般を幅広く診療しております。

呼吸器外科、循環器内科、放射線科と連携し、速やかな診断、治療を心がけております。

患者さまとのコミュニケーションを心がけておりますので、不安に思うことや理解できない事がありましたら遠慮せずにご質問ください、患者さまのQOLの改善を目指します。



15

循環器内科

心臓病を「断らない」「迅速に」「懇切丁寧」をモットーに急性期から慢性期まで対応していきます。



虚血性心疾患におけるインターベンション治療を中心に、不整脈（徐脈性・頻脈性）、心不全や大動脈疾患、静脈疾患等、広範囲な循環器疾患の診療を行っております。血管造影室と2台のCT、2台のMRIと検査治療機器を擁し、積極的に精査加療を行っております。また、救急科と連携を行い虚血性心疾患における迅速なカテーテル治療への搬入も行っており、患者さまの生命、安全を守るために全力で診療を行っております。

循環器内科の特徴

救急循環器疾患（心筋梗塞、不整脈、動脈閉塞、静脈血栓症、心不全）の緊急対応から慢性疾患・生活習慣病の管理まで幅広く対応できる体制を整えております。

また、カテーテル治療をはじめ低侵襲な医療を提供することが可能になっており、今後も患者さまに適した医療を提供できるように準備してまいります。

循環器疾患が増える高齢化時代において地域の中で心疾患の予防、治療、再発防止に関わる医療ネットワークの一員として信頼していただけるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

当科の治療対応疾患

急性心筋梗塞

虚血性心臓病
(狭心症)頻発性不整脈
(アブレーション)徐脈性不整脈
(ペースメーカー治療)

16

消化器内科



食道、胃腸、肛門、肝胆膵といった腹部の症状・疾患に幅広く対応し、患者さまに苦痛や不安のない検査・治療を心がけていきます。必要に応じて、外科や近隣の施設・病院と密に連携をとり、スピーディーな医療を提供させていただきます。

消化器内科の特徴

消化器に関連する症状は、様々な原因で誰にでも起こりえる症状です。当院では、内視鏡検査や超音波検査、画像検査（CT検査、MRI検査）を組み合わせることにより、診察を行っております。

上部消化管出血（胃・十二指腸潰瘍、食道静脈瘤など）や下部消化管出血（憩室出血、直腸潰瘍など）だけでなく、異物誤飲などの、緊急度の高い疾患に対しても24時間365日、迅速な内視鏡検査を行う環境が整っています。また、ERCP（内視鏡的逆行性胆膵管造影）も行える体制を取っております。「お腹が痛い」「食欲がない」「〇〇を心配している」など消化器に関する症状でお悩みの方はお気軽に当科への受診をお願いいたします。



苦痛や不安のない医療を目指して



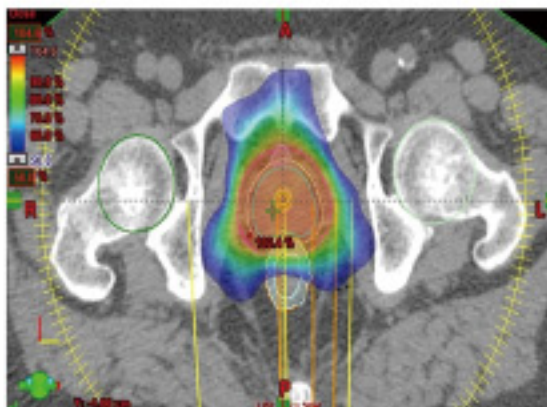
放射線治療センターの特徴

高精度の放射線治療技術(強度変調放射線治療(IMRT)や定位放射線治療(SRT)など)を駆使して、有効性が高く、副作用は少ない放射線治療を行います。

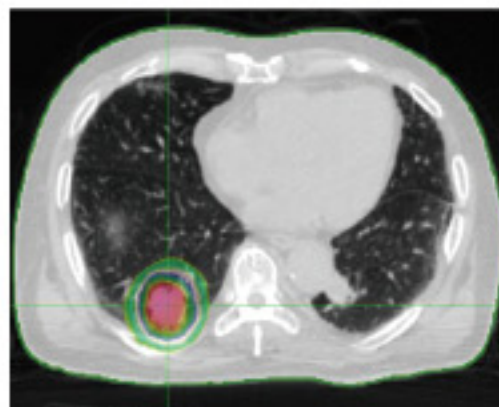
高い技術と豊富な経験を持った専門の医療スタッフが治療を担当します。

治療方針は、医学的な情報だけではなく、患者さまの価値観、生活環境、個人の状況などを考慮して、医療者と患者さまが協力して、最適な選択を導き出します。

高精度放射線治療装置を用いて、安全で効果の高い放射線治療を提供します。



IMRT 前立腺がん
がんには多量の放射線を当てて(橙色)がんの近くの正常臓器の放射線量は低く抑える(青~緑色)ことができる。



SRT 早期肺がん
がんに集中して多量の放射線を当てる(赤色)ことができる。



放射線科の特徴

一般撮影、CT(コンピュータ断層撮影)、MRI(核磁気共鳴画像法)などの医療機器を用いて、24時間365日常時稼働させることにより迅速かつ正確な画像診断を提供できるように心がけております。

そして、患者さまの立場になって痛みや苦しみや気持ちを理解できるように、診断放射線技師とコメディカルでお互いに協力できる体制となっております。



一般撮影

血管造影

乳房撮影

患者さまへの負担が少ないIVRとは?

IVRは画像診断装置(X線、CT、超音波など)を活用して様々な領域の治療を行います。

悪性腫瘍の治療や外傷による臓器破綻などに体を切らずに、体の奥にある臓器や血管の治療を行います。

外傷による出血では、造影剤を用いることで迅速に出血部位を閉そくして止血することができます。

正確かつ迅速な画像診断を心がけております。画像診断装置を活用した低侵襲の治療も行っております。

当院に入院される患者さまが安心して手術を受けられるように麻酔を提供するよう心がけております。

麻酔科の特徴

麻酔科では手術時における麻酔を中心に担当しております。手術を行う科の医師、手術室スタッフと一緒に手術チームの一員として、患者さまに安心できるような環境を提供致します。また、麻酔科医による麻酔を提供しております。

定期手術は勿論ですが、緊急手術にも対応しております。救急外来から手術室までスムーズに移動できる経路もあり、手術が決まってから手術が始まるまでに発生しがちな無駄な時間を極力減らすように心がけております。患者さまと接する機会が極端に少なく、忘れられがちな科ではございます。しかし、陰ながら微力ではありますが、患者さまの快適な入院生活の一助になるべく邁進しております。

手術を受けられる際には少しでも麻酔科のことを思い出していただければ幸いです。



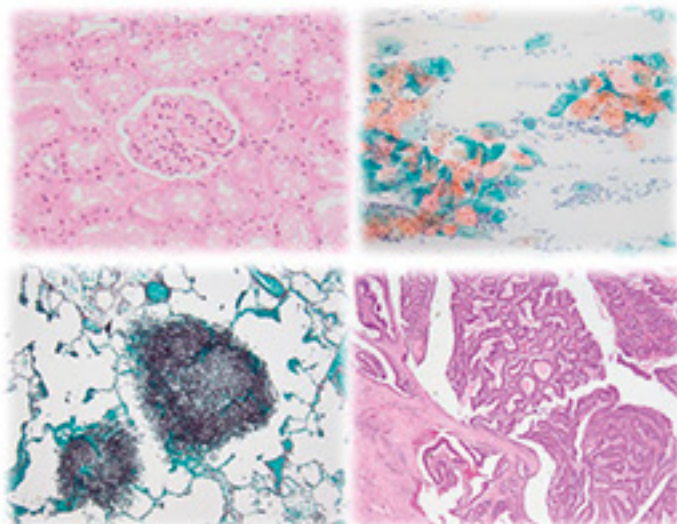
病理診断科は、患者さまから採取された細胞や組織を主に光学顕微鏡で観察して病変の診断を行う診療科です。

病理診断科の特徴

当院検査科では24時間・365日常に臨床検査技師が常駐し、昼夜問わず質の高い検査の提供を心がけて行っています。

病理検査室では、組織検査、細胞診検査、術中迅速検査、病理解剖を行っており、必要に応じて、免疫染色や電子顕微鏡的検索・PCR等の分子生物学的手法を用い、よりの確な診断が行えるように心がけています。

また、CPCや
 キャンサーボード、
 各種カンファレンス等を積極的に
 行い、
 臨床各科や他部署との
 意見交換や連携を深め、
 より適切な診断・
 治療が行えるように
 協力しています。



24時間365日断らない 救急救命医療を モットーに、地域の皆さまに愛され、 信頼される病院を目指して

2023年11月25日に所沢明生病院と狭山中央病院が合併し、さらに病床を増床して221床で稼働。それまで両病院が果たしてきた地域医療の役割を引き継ぎ、さらに救急医療や高度医療の面において発展させて、地域に貢献したいと考えています。

所沢美原総合病院紹介動画



総合案内



外来案内



入院案内



手術案内



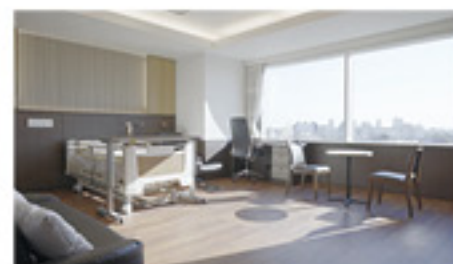
放射線治療案内



明るくゆったりとした空間



広々とした明るく広い廊下では生活リハビリも可能



窓からは壮大な富士山も
 見ることができます



待合スペースが広く、
 一面ガラス張りとなっているため
 明るく開放的な空間です



緑豊かな景色に癒されるデイルーム



様々な医療機器が使用できる集中治療室

医療機器



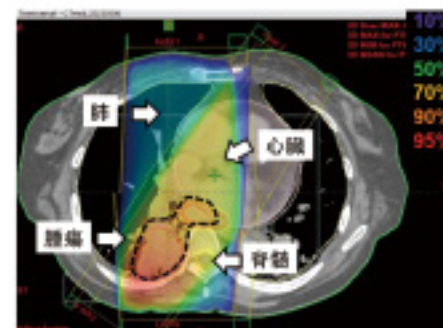
リニアック

リニアックとは、高エネルギーの放射線を発生させる治療装置です。このエネルギーを利用して、がん細胞を死滅させるのが放射線治療です。当院では最新鋭のリニアック (Truebeam with SyncTrax) を導入しました。一般の放射線治療から、IMRT (強度変調放射線治療)、SRT (定位放射線治療) などの高精度放射線治療まで、様々ながんの治療に対応できます。



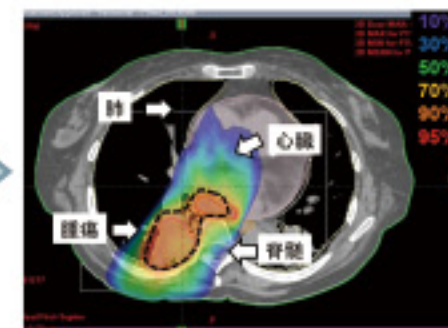
IMRT (強度変調放射線治療)

- ◆肺がんや前立腺がんなどの複雑な形状の腫瘍が正常組織に接している場合の治療に有効。
- ◆腫瘍の形状に合わせて最適な線量を照射し、正常な臓器への線量は低く抑えます。



従来の照射

腫瘍の周辺の臓器の広い範囲に強い線量が当たってしまう。



IMRT

腫瘍のみに高い線量が当たり、周辺の臓器への影響が低く抑えられる。



ダヴィンチ

da Vinci Xiによるロボット支援手術では、複雑な手術を患者さまの負担を抑えながら行うことが可能です。3Dハイビジョンシステムの鮮明な画像を見ながら、医師によりロボットアームが操作されます。人間の手首よりもはるかに大きな可動域を持つロボットアームの先端に備えた鉗子を使用し、精密な手術を可能にします。



ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室とは手術台に血管X線装置を組み合わせた手術室です。これまでに心臓や脳のカテーテルを用いた血管内治療を血管造影室で行っていましたが、急変時に外科的治療が追加になった場合は手術室に移動し治療を行っていたため迅速な対応が困難でした。ハイブリッド手術室を導入することで血管内治療と外科的治療が同時にできるようになり、患者さまの移動に関する負担を軽減し治療を行う事が可能になりました。

看護部長のあいさつ



看護部長
仲谷 恵理

看護部は病院理念である、「志は高く、敷居は低く、懇切丁寧に」を基本とし、安全で質の高い看護サービスを提供できるようクリニカルラダーに基づいた研修制度を整え、看護師個々の力に合わせた教育体制を取り入れています。患者さまを取り巻く人々が笑顔になれるよう、「自分に出来ることは何か」を考え行動できる看護師を育てたいと日々検討し、実践しています。そして看護師がやりがいを持ち、いきいきと活躍し成長できる環境づくりに努めています。緑豊かで都心にも近い当院で、私たちと一緒に看護を実践していきましょう。

理念
方針

こうなりたいを現実に行える、看護を提供します。

- 1 1人ひとりが目指す看護を実践します。
- 2 「患者さまの気持ち」とそのご家族を大切に、温かい心で看護します。
- 3 多職種と連携を図り、協働実践を実現します。
- 4 専門職としての誇りを持ち、自己研鑽に努めます。



教育
理念

愛情を持って教え、
ともに育つ。

教育
体制



◎海外修学・国内留学有り

一年生
教育

新人看護師は入職5か月間は、教育専任の1年目担当看護師と共に患者さまの看護を実践します。いつでも相談ができる安心感を持って仕事をしながらも、新人看護師1人1人の能力と成長に合わせた教育を行います。主任がリーダーシップを図り、急性期看護の実践能力が習得でき、計画的にスキルアップできるよう、看護部全体で勉強会や集合研修を行っております。そして、新人ナースが1日でも早く職場に順応できるように、スタッフ全員でサポートしていきます。



先輩職員
からの口コミ

先輩看護師や医師が優しく丁寧に教えてくれます。プリセプター、メンター制度もあり悩み事、わからないことなどゆっくり話せることも良い環境です。仕事だけの話ではなくプライベートの話をすることもあり仲が良いところがとても魅力的に感じます。

認定看護師

●皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡などの創傷ケア、ストーマケア、失禁などの排泄ケアを専門としています。3つの分野に共通するスキンケアや排泄ケアは看護の基本となるものであり、患者さまの生活の質に関わるものです。現在は、褥瘡予防や出来てしまった褥瘡を早期に治療させるために、褥瘡チームを発足させ他職種と連携をして活動をおこなっています。多くのことが学べる環境で一緒に働けることを楽しみにしています。

●感染管理認定看護師

感染症は「うつす可能性」と「うつされる可能性」があります。そのため、感染管理の対象は、患者さまだけでなく、病院で働く職員、面会に来られるご家族などが含まれます。感染が拡大しないよう、部署に関係なく感染対策に関わる知識や技術を院内で広めていくことが主な業務となります。感染症はいつ発生するかわかりません。基本的なこと一緒に学びながら、安全な環境を提供できる仲間を探しています。一緒に働いてみませんか？

●脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

脳卒中とは、書いて字のごとく、突然(卒)急激にあたる(中)病気です。わたしは、そのような突然の変化に見舞われた患者さまと、「違う自分をどのように受け止め、生活や人生を送る(re habilis)のか」を共に考えることのできる看護師を目指しています。医療は目を見張る速さで進歩し、多くの患者さまを救っています。今必要とされるための知識と技術を一緒に学び患者さまと深い時間を過ごしてみませんか。

●集中ケア認定看護師

重症患者さまや手術直後の患者さま、急激に悪化した患者さまなど様々なニーズに対応するためにスタッフと共に考え、患者さま-そのご家族に安心した看護ができるよう日々業務に取り組んでいます。また、現場教育にも力を入れており臨床現場の悩みを解決できるよう全力でサポートしています。一緒に素晴らしい看護の世界を目指しましょう！



01

リハビリテーション科

チームで連携し、安心・安全なリハビリテーションの提供を心がけております。



私たちリハビリテーション科は、当院の基本理念である「志は高く 敷居は低く 懇切丁寧に」のもと、患者さま一人ひとりに合わせて適切なリハビリテーションが提供できるよう研修・教育体制を整えています。できる限り早くリハビリテーションを開始する事で、患者さまが当院での治療を終えた後、安心して自宅に帰れるよう支援しています。また、患者さまの状態に合わせて理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が医師・看護師・栄養士等の多職種と連携してリハビリテーションの計画を立て、専門的で安心・安全なリハビリテーションを提供できるよう取り組んでいます。

チーム体制

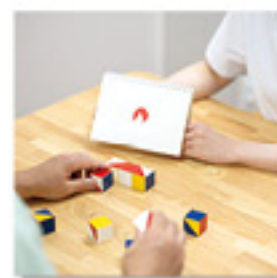
リハビリテーション科スタッフが、4階(循環器内科・心臓血管外科・内科など)、5階(脳外、泌尿器科など)、6階(消化器外科・呼吸器外科・乳癌外科・婦人科など)、7階(整形外科・形成外科・皮膚科など)の各チームに分かれ、疾患に合わせた専門的なリハビリテーションを提供できるよう体制を整えています。

理学療法部門
(PT)

一人ひとりに合わせた専門的な介入で身体機能の改善を図ります。

作業療法部門
(OT)

病前の生活を見据えて日常生活動作能力の向上を目指します。

言語聴覚部門
(ST)

「話す」「聞く」「食べる」ためのリハビリを行います。

02

放射線科

放射線科の特徴

一般撮影、CT(コンピューター断層撮影)、MRI(核磁気共鳴画像法)などの医療機器を用いて、24時間365日常時稼働させることにより迅速かつ正確な画像診断を提供出来るように心がけております。そして、患者さまの立場になって痛みや苦しみや気持ちを理解し共感できるように診療放射線技師とコメディカルでお互いに協力できる体制となっております。



主な業務



検査科の特徴

検査科は適正な治療を行うために必要な患者さまの情報を、迅速に臨床現場に提供しています。また重症度の判断や、治療の効果など、病気の経過を判断する上でも大切な役割を担っています。当院検査科では24時間・365日、臨床検査技師が常駐し、昼夜問わず検査を行っております。



主な業務

一般検査	生化学・免疫検査・血液学検査・尿検査・輸血検査など
生理検査	心電図検査・超音波検査(心臓・腹部・その他)・ABI・聴力検査など
病理検査	組織検査・細胞診検査・術中迅速検査・病理解剖

放射線科スタッフ、コメディカル間でお互いに協力し、正確かつ迅速に検査や治療にも広く対応するよう心がけております。

病気の診断・治療・経過観察の指針となる患者さまの情報を迅速に現場に提供。

03

検査科

04 薬剤科

薬の専門家として医薬品の面から医師の診療のサポートを行い、より良い医療を患者さまに提供できるように日々努めています。



病院薬剤師の業務

内服薬・注射薬調剤業務

患者さまに対して行われる全ての薬物治療は薬剤師の確認を経たうえで実施されます。患者さまによって身体機能や病態が異なることから、ひとりひとりに合った投与量や剤型の提案を行うことで薬剤の適正使用を促進します。

医薬品情報管理業務

医薬品の情報は日々更新されています。必要な医薬品情報を適正に加工し、その他の医療スタッフへ共有することで適切な薬物治療を提供できるように努めています。

病棟における薬剤師の業務

入院患者さまに対してこれまでの薬剤使用歴を踏まえたうえで、実施している薬物治療について説明を行います。患者さまが入院時に安心して治療を受けられるように薬の面からサポートを行います。

05 臨床工学科

様々な医療機器を安全かつ安心して使用できるように日々努めています。



臨床工学科の特徴

臨床工学技士 (ME:Medical Engineer、CE:Clinical Engineer) は1987年に制定された「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格者であり、医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業務としています。

日々医療技術が進化する中、医療機器において専門的な知識が必要とされています。

我々臨床工学技士は、医療機器に対する高度な知識と技術を常に習得し、患者さまにとって安全でより質の高い医療を提供することを目標とし、日々業務に取り組んでいます。

また24時間365日対応できるようにオンコール体制をとっています。

06 栄養科

患者さまに寄添う栄養サポートを心がけています。

主な業務

入院中の患者さまの食事・栄養管理

各病棟に担当管理栄養士を配置し早期に食物アレルギーの確認や栄養評価を実施すると共に患者さま個人に応じた栄養量・食形態での食事提供を行っています。診療科毎に開催されるカンファレンス・回診では他職種と連携を図り情報共有に努めています。また月に1~2回、季節の食材を使用したイベント食を患者さまに楽しんでいただきたいという思いで企画・実施しております。



栄養サポートチーム (NST)・診療科カンファレンス

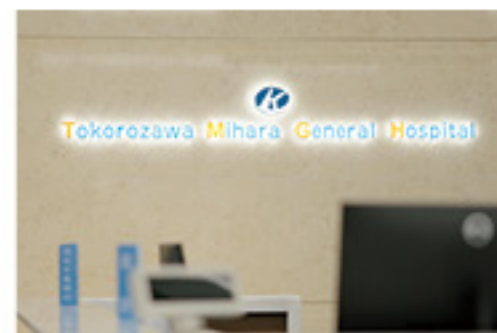
医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフと連携し、患者さま個人の生活背景を考慮した栄養ルートや食事環境等について提案・及び退院先への情報提供を行っています。

入院・外来個別栄養相談 (予約制)

患者さまの退院後の生活環境や疾患に合わせて、無理なく食事療養が続けられるよう支援をさせていただきます。「また食事の相談をしたい」と思っただけのような栄養サポートを目指しております。

事務部の特徴

事務部の中でも、医事課、メディカルクラーク科、医療連携センターは患者さまと接する機会が多いため、患者さまの気持ちに寄り添い、安心できる病院となるよう懇切丁寧な対応を心がけております。特に受付に立つ医事課は「病院の顔」として、患者さまの目線になり、気配り、目配り、心配りを徹底し、メディカルクラーク科、医療連携センターと協力して患者さまが抱えられている不安や疑問の解消や問題の解決ができるよう努力しております。総務課は庶務、用度、営繕、経理、労務、資材、システムと役割分担されており、主に職員対応や業者対応、来客対応など多岐にわたる対応を行っています。事務部として多職種の職員と信頼関係が築けるよう積極的なコミュニケーションを心がけ、事務部全体で病院間、職員間の繋ぎ役となるよう日々努めています。



事務部

事務部

事務部は医事課、メディカルクラーク科、医療連携センター、総務課で構成され、それぞれの役割分担で多職種と連携しながら業務を行っています。

医療連携センター

地域の医療機関と連携し、患者さまに適切な医療を提供するためのサポートや、退院調整及び退院後の介護や福祉に関する相談をお受けしております。また、地域に根差した病院を目指し、地域への広報活動も行っております。



医療連携センターは、当院と他の医療機関との連携を円滑に行えるよう主に以下の業務を行っております。

●前方支援業務

- ・医療機関、施設よりご紹介いただいた患者さまの外来受診及び入院の調整を行います。
- ・患者さまの情報や診療内容を医療機関と共有します。
- ・当院の医療機器の共同利用の調整や連絡業務を行います。

●後方支援業務

- ・入院患者さまの他の医療機関、施設等への転院調整や在宅で安心して生活ができるよう退院支援を行います。
- ・介護保険制度、福祉制度の説明、在宅医療、介護サービスの紹介を行います。

●医療相談窓口業務

- ・患者さまやご家族、他の医療機関や施設からの医療相談や福祉に関するご相談をお受けしております。

●広報活動業務

- ・医療連携会、健康教室、研修会の開催、医療連携に関する情報発信、及び情報収集を行い、顔の見える地域医療ネットワークを構築します。
- ・登録医制度を活用し、地域医療連携を推進します。

お問い合わせ窓口

TEL:04-2997-8239

FAX:04-2997-8022

地域活動



地域活動の特徴

当院では各種疾患の検査・治療並びに健康維持に関わる知識を住民の皆さまに知っていただくために健康教室を開催しております。また、リハビリテーション科のセラピストによる健康体操を皆さまと行い健康維持、認知症予防、サルコペニアの予防などに努めております。

講演時間	スライド等を利用して講演時間は20分~30分、その後質疑応答の時間10分程度、健康体操(美原体操)
講師	講演の内容によって当院の医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師等が担当いたします。
申し込み	お申込み不要です。 公民館、まちづくりセンターなどのお知らせ、院内掲示を参照ください。
参加費	無料です。

※急患・患者さま対応などにより予告なく講座が遅延、中止となる場合がございます。



地域活動の仕事の一つに、地域の皆さまの健康推進に向けて手助けをさせていただいております。医療のことだけではなく、地域住民の方とのふれあいも大事にしたいと思っております。

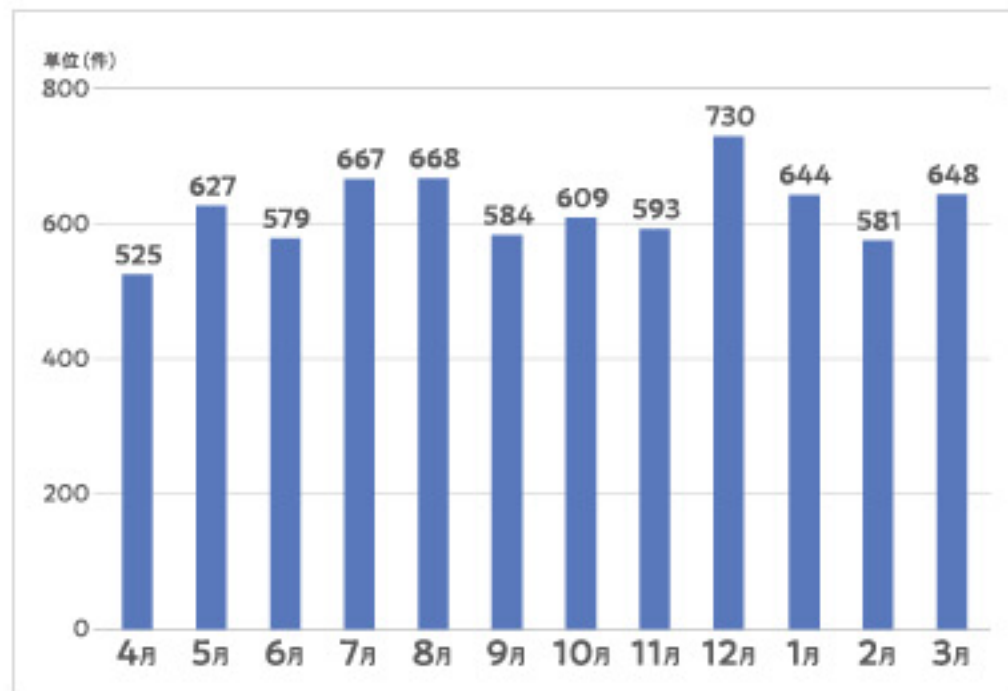
救急搬送受け入れ件数実績

(令和6年度)

埼玉県西部地区を中心に、川越地区、人間東部地区、東京都内からも収容依頼多数あり。

延べ:7,455件(平均20.4件/日)

期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日



24時間365日断らない救命救急医療をモットーに様々な病気やけがの患者さまを受け入れております。令和6年度は、7,455件の救急搬送を受け入れました。連携・協力をして下さる医療機関や施設、救急隊の皆さまのご協力の賜物と考えております。今後も地域医療連携に貢献し、一人でも多くの患者さまのお役に立てるよう、体制の強化と連携の強化に努めてまいります。



1 一般社団法人 新野の会 (国保型)
八千代リハビリテーション病院
〒226-0205 千葉県八千代市水本1808
TEL:0477-488-1555 FAX:0477-488-1552
www.yoshiyama-rha.com



2 一般社団法人 新野の会 (国保型) 茨城県
新上三川病院
〒232-0411 栃木県河内郡上三川町上三川12340
TEL:0285-54-7111 FAX:0285-54-7145
www.sanjo-hp.jp



3 一般社団法人 新野の会 (国保型)
宇都宮リハビリテーション病院
〒221-0482 栃木県宇都宮市御幸町43-2
TEL:028-642-6799 FAX:028-640-1041
www.shirogane-rha.jp



4 社会福祉法人 社団 埼玉西武の会 (国保型)
明生リハビリテーション病院
〒335-1104 埼玉県所沢市東武東上線山手丘4-2491-2
TEL:04-2929-2220 FAX:04-2929-2134
www.meisho-rha.jp



5 医療法人社団 慈恵会 (国保型)
みどり野リハビリテーション病院
〒242-0007 神奈川県川崎市中原区新田町2-6-17
TEL:046-271-1221 FAX:046-271-1220
www.misaki-rha.jp



6 医療法人社団 日産の会 (国保型)
蒲田リハビリテーション病院
〒43-0801 静岡県蒲田市大曲西4-14-5
TEL:03-5757-7100 FAX:03-5757-7107
www.kanata-rha.net



7 医療法人社団 日産の会 (国保型)
小金井リハビリテーション病院
〒118-0011 東京都小金井市池袋町1-8-2
TEL:042-318-3541 FAX:042-318-3542
www.koganei-rha.net



8 医療法人社団 日産の会 (国保型)
赤羽リハビリテーション病院
〒118-0005 東京都北区赤羽西4-37-12
TEL:03-5993-5777 FAX:03-5993-5778
www.akatsuki-rha.jp



9 一般社団法人 日産の会 (国保型)
松戸リハビリテーション病院
〒270-0201 千葉県松戸市和名台1009-1
TEL:047-703-1555 FAX:047-703-1556
www.matsugawa-rha.com



10 一般社団法人 日産の会 (国保型)
千葉みなとリハビリテーション病院
〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央1-17-10
TEL:043-245-1555 FAX:043-245-1558
www.chiyomi-rha.com



11 医療法人社団 日産の会 (国保型)
原宿リハビリテーション病院
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-26-1
TEL:03-3486-8333 FAX:03-3486-8334
www.harunuma-rha.com



12 医療法人社団 日産の会 (国保型)
五反田リハビリテーション病院
〒147-0001 東京都品川区五反田4-8-20
TEL:03-3779-8820 FAX:03-3779-8823
www.iwatsubo-rha.com



13 社会福祉法人 社団 埼玉西武の会 (国保型)
新久喜総合病院
〒346-8510 埼玉県久喜市上早見418-1
TEL:0480-26-0033 FAX:0480-44-0026
www.shi-niigata-rha.jp



14 医療法人社団 日産の会 (国保型)
江東リハビリテーション病院
〒114-0019 東京都江東区北砂2-15-15
TEL:03-6800-1555 FAX:03-6800-1556
www.hkg-rha.com



15 社会福祉法人 社団 埼玉西武の会 (国保型) 埼玉県
東京品川病院
〒148-0022 東京都品川区東品川6-6-22
TEL:03-3764-0511 FAX:03-3764-3415
www.tokyo-shinjyo.jp



16 一般社団法人 日産の会 (国保型)
新宇都宮リハビリテーション病院
〒221-0111 栃木県宇都宮市南町2-5-31
TEL:028-644-4880 FAX:028-644-4887
www.shi-niigata-rha.jp



17 社会福祉法人 社団 埼玉西武の会 (国保型) 埼玉県
所沢美原総合病院
〒319-0201 埼玉県所沢市美原町2-2934-2
TEL:04-2928-8199 FAX:04-2927-8196
www.tmg-hp



18 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型) 埼玉県
福岡和白病院
〒811-0211 福岡県福岡市東区白旗2-2-75
TEL:092-608-0001 FAX:092-407-3051
www.f-wajiro-hp.jp

19 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
新小文字病院
〒180-0007 福岡県北九州市門司区大津町2-5-5
TEL:093-591-1001 FAX:093-591-7001
www.shinkomonji-hp.jp

20 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
新行橋病院
〒824-0015 福岡県行橋市橋本町7A11
TEL:0930-24-8099 FAX:0930-22-0551
www.shingakuhospital.co.jp

21 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
福岡新水巻病院
〒817-0001 福岡県福岡市水巻町立原1-2-1
TEL:093-203-2220 FAX:093-203-2221
www.f-shinkumaki.jp

22 一般社団法人 日産の会 (国保型) 茨城県
新武雄病院
〒303-0814 茨城県武雄市武雄町大字東川12428
TEL:0954-25-3111 FAX:0954-25-0206
www.shintake-hp.co.jp

23 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
香椎丘リハビリテーション病院
〒810-0002 福岡県福岡市東区下郷2-24-36
TEL:092-642-3100 FAX:092-642-3928
www.kashira-rha.net

24 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
青山リハビリテーション病院
〒805-0043 福岡県北九州市八幡西区青山1丁目7-2
TEL:093-642-0070 FAX:093-642-0080
www.aoyama-rha.jp

25 一般社団法人 日産の会 (国保型)
下関リハビリテーション病院
〒751-0814 山口県下関市今津町9-6
TEL:083-232-5811 FAX:083-232-0219
www.shimoda-hp.jp

26 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
福岡和白PET画像診断クリニック
〒811-0211 福岡県福岡市東区白旗2-2-75
TEL:092-608-1766 FAX:092-408-1515
www.fwpet.net

27 社会福祉法人 財団 埼玉西武の会 (国保型)
福岡和白PET画像診断クリニック
〒811-0211 福岡県福岡市東区白旗2-11-17
TEL:092-608-0138 FAX:092-603-5004
www.fw-keashin.net

28 学校法人 日産の会
下関看護リハビリテーション学校
〒751-0815 山口県下関市竹野町13-4-17
TEL:083-222-0505 FAX:083-222-8905
www.shimoda-nursing-rha.jp

29 学校法人 日産の会
小金井リハビリテーション学院
〒180-0194 福岡県北九州市小倉南区東原2-2-10
TEL:093-473-9005 FAX:093-473-8159
www.koganei-rha.jp

30 学校法人 日産の会
福岡水巻看護専門学校
〒817-0001 福岡県福岡市水巻町立原1-14-51
TEL:093-201-5233 FAX:093-201-5234
www.kango-mizumaki.jp

31 学校法人 日産の会
武雄看護リハビリテーション学校
〒943-0814 佐賀県武雄市武雄町大字東川12423
TEL:0954-25-3700 FAX:0954-23-6710
www.taken-muse-rha.jp

32 学校法人 日産の会
八千代リハビリテーション学院
〒226-0001 千葉県八千代市八千代北11-1-30
TEL:0477-481-7320 FAX:0477-481-7321
www.yoshiyama-rha.jp

33 学校法人 日産の会
令和健康科学大学
〒811-0211 福岡県福岡市東区白旗2-1-12
TEL:092-607-6701
www.rho-u.ac.jp

34 九州-山口地区